気遣ってくれる人がいると解ると、勇気が湧くもの

昨夜、ＨＰ記事を更新したが、昨日朝に件名「はじめてお便りします」と記した次のようなメールをいただいていた。

【　阿部さんの雑学の愛読者と自称思って、ほぼ毎日チェックをしてます。
このところアップしていないので、お体の調子を崩したのかなと、ちょっと心配になりました。
阿部さんはきっと旅行に出かけているんでしょうとは、勝手に思っているのですが。
もし、体調を崩されていたら、ごめんなさい。　】

記事の更新を楽しみにＨＰ「雑学」を毎日チェックしてくださる隠れフアンの存在は感激であり、感謝！　感謝！　(^^)/~~~
まして、健康まで気遣ってくださっていたとは……(T_T)、早速、お礼の返信を差し上げた。

HP 開設以来恐らく初めてと思うが、確かに、ここ１０日ほどは記事の更新アップはしていなかった。
「雑学ＢＮ」の「情報等紹介コーナー」、「ＴＶ番組等紹介欄」等を含めると、ほぼ毎日どこかを小修正・更新していたが、自分は気になることはそれを先に片づけないと次に進めない不器用な性格。
ここしばらくは、１３０名を近くの学生の答案用紙の採点、また、今月末に２ケ所から依頼のあった講話等のレジメ等作りに気が行っていた。

さて、「人は、自分を気遣ってくれる人のいることを実感すると、生きる勇気が湧くもの」とか。
今回、このメールに接し、益々このことばの意味を実感させられた。

それにしても、我々は知人等の近況を気遣うことはあるが、このメールの方のようにそれをまずは発信しないことには相手に伝わらない。
それだけに、やはりまずは想いを伝える行動に移すことがどんなに大切かを、今回改めて認識させられた。

想像されたように旅行にでも出かける身であればいいのだが、こう寒くてはねぇ～。
今年度の各学校の授業も終わったことでもあり、もっぱら４月まで冬眠を決め込んでいる、ｸﾞ-、ｸﾞ- 、(-_-) ｽ-、ｽ-

阿部幸泰　　（2008 年 2 月 9 日　記）